

「かじがおきたから みんなでしゅつどうしているよ」

三谷 来良（みにたに らら） 5歳

玖珂保育園（山口教区）

絵の具の大胆な線で描かれた消防車に、自分たちが乗り込み今から出動する様子を描いています。人物や装備品、ホイールの特徴などは、ペンを活かして細かに表現しています。ハンドルを持つ運転手、搭乗している消防士たち一人一人が違う色の服を着ています。自分たちが消防士さんになり、「いまから出動するんだ」という迫力が感じられます。

もちろん、消防署見学に行き、目の前で大きな消防車を見て、触れて、消防士さんのお話を聞いたという経験が土台にあります。こどもたちは、興味津々だったようで「ライトもあった」「ホースも長かったよね」などとつばやきながら描いていたそうです。しかし、この経験をただ再現させようとしても、こんなに創造的な表現は生まれてきません。先生は、このこどもたちの興味を土台に、想像の世界で楽しく遊ぶ活動を引き出そうと考えて「消防士さんのお手伝いをしよう!」と誘いました。ここに、こどもたちの創造的表現を引き出す鍵があるのです。

●表紙のことば●



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学